



## 畜産の新たな社会価値創出につながる アニマルウェルフェアの最新動向と今後

### 講演

アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理技術は、畜産の持続可能性につながり、これらの新しい技術を利用して生産された畜産物は既に市場に出回りつつあります。しかし、これらの畜産物は人件費や飼育設備の費用が増加するため高価となります。

一方で、消費者の食の購買動機ははまだ価格・美味しさ・栄養価(機能性)が高い優先度を占め、その認知や市場の拡大は伸び悩んでいます。消費者が価格だけではない「新しい技術の付加価値」に目を向け、購買行動に移すことは、生産現場へ新技術を導入するための後押しにもなります。そのためには、消費者が畜産物の生産現場の実態への理解を深め、その新しい価値を理解するきっかけや取り組みが必要でしょう。

本講演では、これらの最新動向や消費者認知の拡大、食品産業の取り組みへの期待を解説いただきます。ぜひご参加ください。

#### 【講演1】15:00 ~ 15:50

##### 「アニマルウェルフェアと畜産や畜産物(食品)に関する最新の研究と解説」

東京農工大学 農学部 生物生産科学 教授 新村毅氏

##### <プロフィール>

麻布大学獣医学部卒業、同大学院獣医学研究科博士後期課程早期修了。日本学術振興会特別研究員DC1、同PD、基礎生物学研究所特任助教、東京農工大学農学部准教授を経て現職。

専門分野は、システム行動生物学、動物福祉学。日本農学進歩賞、文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞。主な著書に、ニワトリの卵から考えるアニマルウェルフェア(化学同人)、動物福祉学(昭和堂)など。

日本学術会議連携会員、若手アカデミー会員。

#### 【講演2】15:55 ~ 16:45

##### 「アニマルウェルフェアの消費社会(市場)への実装に向けた

##### 課題整理と解決策の提案」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

畜産施設管理研究領域 アニマルウェルフェアグループ 上級研究員 加藤博美氏

##### <プロフィール>

2003年3月酪農学園大学食生産利用科学専攻博士課程満期退学。博士(農学)。

神奈川県畜産技術センター、中央農業総合研究センター、Laboratoire des sciences du climat et de l'environnement (LSCE)、北海道大学農学研究院を経て現職。

専門は家畜管理学・農業者福祉学。

#### 【質疑】16:45 ~ 17:00

◆本セミナー推薦 企画委員 : キューピー株式会社

日時 : 2026年7月14日(火) 15:00~17:00

会場 : 日本食糧新聞社「食情報館」(東京都中央区入船3-2-10 アーバンネット入船ビル4階)

参加費 : 食品産業文化振興会 会員企業 : 無料

プレ会員 : 16,500円(税込、1企業あたり複数名受講可) ◇お申込後、ご請求書を発行致します

日本食糧新聞社・食品産業文化振興会事務局

電話 03-3537-1310 FAX 03-3537-1071

〒104-0042 東京都中央区入船3-2-10 アーバンネット入船ビル5階

# 食品産業文化振興会(7月14日)申込書

FAX03-3537-1071までお申込みください。

御社名			
住所		〒	
TEL/FAX		/	
○印	部署/お役職	お名前	E-Mail
来場/ Web			
来場/ Web			
来場/ Web			

※会員形態を選択してください 正会員 準会員 プレ会員

- ◆下記サイトからもお申込み可能です  
(来場受講・Web受講)
- ◆開催後アーカイブ化(90日間)。 閲覧希望者は  
下記『[セミナー申込フォーム](#)』よりお申込み下さい

セミナー申込フォーム  
(<https://bit.ly/3PBGKpn>)

Web受講用申込サイト  
※Zoom申込に移動します



## 食情報館<入船>



東京都中央区入船3-2-10アーバンネット入船ビル4階  
TEL:03-3537-1310

<最寄駅>

東京メトロ 有楽町線 新富町駅 7番出口 徒歩1分  
東京メトロ 日比谷線 築地駅 3a出口 徒歩5分

### 次回ご案内

2026年8月21日(金) 15:00~17:00

「その時、物流は止まった — サイバー攻撃による「受発注ダウン」を  
乗り越える、メーカー・卸の連携とバックアップ戦略」

【講師】グローバルセキュリティエキスパート(株) ご担当者様

### 【セミナー予定表】

